

施設名称	〔9〕 東京都台東区立産業研修センター					
指定管理者の名称	公益財団法人台東区産業振興事業団	指定期間	H28.4.1 ~ H33.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区産業の経営基盤を整備し、区内中小企業の育成を図るとともに、中小企業勤労者の福祉の向上を目的に、勤労者サービスセンター及び産業研修センターの運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	なし					
(3)経営状況	基本財産の額 5億円〔収入〕176,592,554円〔支出〕163,011,341円 〔区返還〕17,564,077円〔当期末残高〕41,217,457円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区橋場1-36-2					
(2)設置目的	台東区の中小企業の振興及び勤労者等の福祉向上並びにものづくりに携わる事業者の育成を図り、もって区内産業の活性化に寄与する。					
(3)利用者	区内在勤、在住の者で構成する団体等 浅草ものづくり工房入居者ほか					
(4)開館日・時間	・開館日：毎週月曜日 国民の祝日に関する法律に定める休日（月曜日の場合はその翌日）1月2日、3日 12月29日から31日までを除く毎日 ・開館時間：9時から22時					
(5)規模	旧館：S56.10.1 開設・延床面積 932.78㎡ RC造3階建 事業者支援施設（貸事務所9室） 機械研修室 新館：S58.11.1 開設・延床面積 1,179.04㎡RC造4階建（4階橋場老人福祉館併設）会議室 研修室 皮革産業資料館兼図書コーナー					
(6)人員体制	産業研修センター所長 1名、事務職員 4名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	【サービス提供】登録団体への各研修室、会議室等の貸出 【事業者支援】浅草ものづくり工房入居者への支援					
(2)自主事業	革工芸教室・CAD講座・語学教室・太極拳教室等実施					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	21,067,000	17,170,000	16,125,000	16,845,000	16,505,000
	利用料金収入	6,440,000	6,651,000	6,877,000	7,018,000	6,558,000
	その他収入	1,955,000	2,026,000	1,652,000	1,593,000	1,600,000
	管理経費	29,462,000	25,847,000	24,654,000	25,456,000	24,663,000
決算	委託料	17,637,128	14,014,776	14,840,697	16,522,331	15,865,959
	利用料金収入	6,455,375	6,404,325	6,837,875	6,074,620	5,450,050
	その他収入	1,675,671	1,577,819	1,654,225	1,870,578	1,630,573
	管理経費	25,768,174	21,996,920	23,332,797	24,467,529	22,946,582
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	
研修センター会議室利用人数	人	13,480	15,604	11,968	10,371	
ものづくり工房入居事務所数	室	9	9	9	9	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 （29年度）	25年度	26年度	27年度	
研修センター会議室稼働率	%	24	24.6	22.4	20.0	
ものづくり工房事務所稼働率	%	100	100.0	100.0	100.0	

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

研修事業として、新たに最新動向を取り入れた「情報化・国際化等支援セミナー」を実施。また、事業団経営支援課が行う各種セミナーや相談事業との連携を図り、内容を充実させている。CADシステムソフトの更新を行い最新の環境で受講できる等、研修内容も受講者のニーズに応えている。
浅草ものづくり工房が第2期生卒業、第3期生募集、入居と入れ替わりの時期であったが、「台東区産業フェア」をはじめ様々な展示会・イベントに出展し、自社のブランドと共に研修センターを含め施設全体のPRにも努めている。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [2]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [1.8]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数等の目標達成 [1]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	管理基準を充足し、施設利用受付、承認も速やかに処理されている。自主事業についても新規セミナーや研修の拡充等、工夫がみられる。地場産業団体との会議を開催し、意見等を踏まえて施設の運営の改善を図っている。
(2)施設の維持管理	A	施設管理は、管理基準を基に点検等を実施しており、業務日誌や施設利用者報告書等によって区に適切に報告されている。清掃業務及び夜間施設管理は、シルバー人材センターに委託し、効率的かつ適切に実施している。
(3)利用者の満足度	B	産業振興事業団ホームページや広報誌等で施設利用について周知をしているが、会議室利用人数は昨年度を下回り、目標達成には至らなかった。自主事業である「手作り教室」は毎回定員を上回る応募があり好評を得ている。
(4)収入支出	A	会議室稼働率の低下で、施設利用収入が減少したが、講座・手作り教室等の事業では、前年度を上回る受講者数を確保したことにより、行事参加収入が増加した。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

要努力
 協定等の基準に基づき事務処理を含め適切に管理されており、講座等で前年を上回る受講者数を確保したが、会議室の稼働率が低下し、利用人数が減少している状況があるため、稼働率向上への取り組みが必要である。

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

会議室の稼働率を高めるため広報・区や事業団のホームページでの周知、各種セミナーや相談事業の充実を図り、引き続きPRを積極的に行い、稼働率向上への取り組みが必要である。また、メディアの露出度が高い「浅草ものづくり工房」を更に活用し、施設公開やイベント等で施設全体のPRを図っていく。
浅草ものづくり工房入居者と卒業生の連携を図り協力関係を構築するとともに、卒業生へのアフターフォローを促進し、持続可能な経営に向けて支援を行い、卒業生の区内定着を図っていく。